

ご報告講演会！

111年の時を超えて

日露戦争時代のロシア兵俘虜の写真から見る
日露友好の記憶

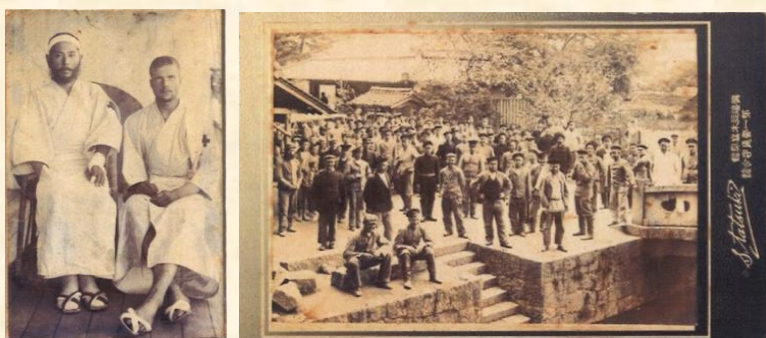
ロシアから舞い込んだ一通の問い合わせメール。そこに添付されていたのは日露戦争時に撮影されたロシア兵俘虜の集合写真でした…。

撮影者のひ孫である立木さとみ氏が体験した写真にまつわる人々の交流と奇跡のストーリー。昨年開催した講演のその後の展開をご報告します。

初めての方にもわかりやすく、二度目の方にはさらに面白くお話しします。ぜひご参加ください！



講師プロフィール



創業1883年の立木写真館5代目。上智大学卒業後、月刊誌「広告批評」で10年半にわたり編集・イベント企画などを経験。1993年に帰郷し、立木写真館入社。省庁、自治体、企業の委員などを歴任。写真のチカラや大切さについて、各地で精力的に講演活動されている。

日時：平成30年 12月 2日（日） 10：00～11：30（開場 9：45）

講師：立木 ^{たつき}さとみ 氏（立木写真館）

場所：シビックセンター4階 活動室4

対象：どなたでも

定員：40名（要申し込み）

お申し込み：徳島市立図書館 TEL 088-654-4421